

**虎の絵本を集めまし**

「メーBook」では、新型コロナウイルスの感染が拡大している状況で、1月、2月の土曜日の読書会を中止いたしました。プログラムを決め、役割分担をして皆さん楽しみにしていましたが…(1/12 水曜日の勉強会、準備会は実行)。寅年は2022年の今年いっぱい。「ガオー」の虎さんは、退出しません。寅年の「読書会」再開を目指して「絵本」の虎さんと仲良く遊びましょう。さあー「トラのお出まし」です。

作：ヘレン・バンナーマン  
 絵：フランク・トビアス  
 訳：光吉 夏弥  
 出版社 瑞雲社

**あらすじ**

小さな男の子は、お父さんとお母さんに、赤い上着とズボン、緑の傘と紫の靴を買ってもらった。すっかりおしやれしてジャングルを散歩していると、次々に四匹のトラが表れ、男の子はトラに食べられないかわりに、洋服等をみんな取られてしまう。四匹のトラは、自分こそ一番立派なトラだと言ってケンカを始め、男の子から取り上げた物も放り出して、お互いのしつぽに食いつき、木の周りをグルグルと回り続けた。あまり速く回ったので、溶けてバターになっちゃった。



ぐるぐるさんぼ  
 ちびくろさんぼ  
 おまえを 食べちゃうぞ  
 でも、トラは、ホットケーキの  
 バターになっちゃって食べられちゃ  
 たね



作：セブ・ブラウン  
 訳：木坂 涼  
 出版社：BL出版

←本を開けば、そこは草原。緑の大地を踏みしめて歩く、大きなトラのポップアップが立ち上がります。本は、ページを開いた状態で置いて閉じないように、製本が工夫されています。平らな場所にぺたんと開いて、ぜひポップアップの動物たちと同じ視線を楽しんでみてください。  
 (このニュースレター添付のトラは、令子先生の作品)



←【奇想天外な冒険活劇の名作が当時のまま復刊】

もとは軍医であった夫とインドに滞在していたスコットランド人ヘレン・バンナーマンが、自分の子供たちのために書いた手作りの絵本です。

『子ども心と創造の空間を豊かに広げ、多くの人を魅了する一冊です。しかし、この絵本は十数年前、差別用語が使用されているなどの理由で、一時絶版になり、新たに当時のまま復刊された絵本であることも忘れてはいけません。』

『(別冊太陽；絵本屋さんが選んだ絵本 100)より。』



- ① ホットケーキ
- ② 魚 肉 ソーセージ
- ③ チーズ等

↑ 1/22  
 ランチバックを  
 手分けして配達！



**うちにもとらが来るかもしれない…？**

作・絵：ジュディス・カー  
 訳：晴海 耕平  
 出版社：童話館出版

ある日、三人家族の家庭に突然あの「虎」がやって来ました。お洒落な家族と、ユーモラスな(ちょっと遠慮のない)とらのお話。でした！



昔、猟師に子どもを殺されたトラ。子どもたちを守れなかった悲しみは、人間への憎しみとなり、夜ごと村を襲います。「トラの怒りを静めるには王子を差し出すしかない」と占い師の予言。森に残された王子はどうなるのか？ 王子が子どものトラと重なり、母の愛情、やさしさを取り戻すトラ。水墨画の手法で描かれた絵は力強く、トラの表情を浮きぼりにします。(書評より)

←「ウエン王子とトラ」 出版社 徳間書店  
 作・絵：チェン・ジャンホン 訳：平岡 敦